

平成24年度 市民科教育全体計画

学校教育目標

よく考え行動する子
やさしく思いやりのある子
元気にやりぬく子

児童の実態と課題

他者との関わりについて

- ・元気なあいさつが、まだ日常的に定着していない。
- ・丁寧な言葉遣い

学校・地域への関わり

- ・学校でそれぞれに役割を担って活躍している。
- ・地域の行事に積極的に参加しているが、地域の一員としての役割を担う意識を更に高めていく。

自己への関わり

- ・学年があがるにつれ、規範的な意識が薄れる。
- ・自尊意識を高めていく必要がある。

家庭、地域との連携

- ・保護者会、通信を活用し、問題点や取り組みを共有する。
- ・学校、保護者、地域の役割を認識する。

各教科、行事との関連

- ・年間指導計画を工夫し、市民科学習と他の教科学習、行事、その他の学校生活全般に生かす。
- ・中学校との連携を深める。

市民科

学年の重点目標

低学年

身近な他者や自然と関わる力の育成
基本的な社会生活習慣を身につけさせる

- ・生活適応能力
- ・コミュニケーション能力

中学年

仲間と関わる力の育成
人間関係形成力や調整力をつける

- ・集団適応力
- ・自他理解力
- ・道徳的実践力

高学年

自己と関わる力の育成
自主性・自立性を育む

- ・自己管理能力
- ・責任遂行能力
- ・社会的判断・行動能力

学校プラン

- ・地域清掃 ・話し合い活動
- ・赤ちゃん交流 ・保育園交流
- ・デイケアセンター訪問 ・職場体験

食農教育

- ・学年園での栽培活動 ・収穫と調理
- ・お箸の授業 ・お弁当給食
- ・お誕生月給食 ・交流給食

生活指導との関連

- ・心と体の健全育成
- ・社会生活習慣の確立
- ・個に応じたきめ細かい指導
- ・セーフティ教室
- ・不審者対応訓練
- ・集団下校訓練
- ・東海グループのきまりに基づいて中学校と情報を共有し、一貫性のある共通指導をする。

進路指導

- ・中学生、地域の方や施設を取り入れた、活動の工夫を図る。
- ・児童一人一人の能力育成に努め、自己理解に基づいた将来への志向をもたせる。

クラブ活動、委員会活動

- ・自らの課題に気づき、力を合わせて解決する意欲と態度を育成する。

たて割り班活動

- 異学年交流
- ・たて割り班集会（月1）
- ・たて割り班給食（月1）
- ・たて割り班清掃（週1）
- ・全校遠足（たて割り班）